


I 教育目標	
<ul style="list-style-type: none"> ○「自ら学び進んで実行する子ども」 (あたまづくり) ◎「心豊かで、思いやりのある子ども」 (こころづくり・なかまづくり) ○「健康でたくましく生きる子ども」 (からだづくり) <p><こども教育目標 (NEGs) > 私は「やってみる」 みんなと「やってみる」 私を「大切にする」 みんなも「大切にする」</p>	

II 経営方針	
<p>目指す学校像</p>	<p>第二亀戸小学校を誇りに思い、みんな、かがやく！学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ こどもたちにとって 毎日笑顔で通える学校 =安心できる場 (心理的安全性) ○ 保護者にとって、安心してこどもを任せられる学校 =通わせてよかったと思える学校 ○ 地域にとって、ともに歩み親しみのある学校 =地域と共に歩む学校 ○ 教職員にとって、自信と誇りをもち、やりがいのある学校 =働いてよかったと思える学校 ※教師としての矜持
<p>目指す児童 (生徒) 像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○めあてをもってすすんで問題解決に取り組み、表現できる子 (やってみる) ○運動に親しみ、健康の保持増進と体力向上にすすんで取り組む子 (やってみる) ○自他を大切にでき、自分のよさを発揮できる子 (大切にする)
<p>目指す教師像</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○こども一人一人に合わせた寄り添う指導と、毅然とした指導ができる教師 ○学ぶ姿勢をもち続け、授業力や人間力に磨きをかけ続けられる教師 ○学校の課題を解決するための主体性と、協調性のある協働できる教師
<p>経営理念</p>	<p>「こども教育目標」を学校経営の中心に置き、「あたまづくり」「からだづくり」「こころづくり」「なかまづくり」をキーワードに、教育目標達成のための10の取組を行う。</p> <p>(1) 学習指導・学級経営力の向上 (2) 体力向上の取組の充実 (3) 生活指導の充実 (4) 道徳・人権・特別支援教育の充実 (5) 特別活動・体験活動の充実 (6) 見通す、実行、振り返るサイクル (7) 充実感・達成感を味わわせる (8) 学校評価の充実 (9) 保護者と教員のコミュニケーションの充実 (10) 愛校心・郷土愛・貢献力を育てる</p> <p>教職員のライフ・ワークバランスと働きやすい職場環境を常に考え経営を行う。</p>

III 経営目標		
重点領域 I	学力の向上 (あたまづくり) <やってみる>	
<p>中期経営目標</p>	主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善を行い、学習内容の確実な定着を図るとともに、探究に取り組む思考力・判断力・表現力や学びに向かう力を育成する。	
<p>短期経営目標</p>	「こうとう学びスタンダード」のさらなる徹底する。 新学習指導要領の内容を確実に実施する。	
項目	努力指標 (教師側)	成果指標 (こども側)
1	「こうとう学びスタンダード」の定着と、見通しがもたせられるよう、学年で確認し合った週予定表を毎週末に児童に配信する。授業計画等、週案で確実に管理を行う。	「こうとう学びスタンダード」の国語・算数・体力・英語の定着度が4月の調査で100%となる。(指標は第5学年を用いる)
2	どの教科でも「見通す」「やってみる」「振り返る」のサイクルを意識した授業改善を行う。個に応じて1人1台学習者用端末を効果的に活用する。	「自分からすすんで学習した(「やってみる」を意識した)」「友達と一緒に協働して学習した(同)」と回答する児童が100%以上となる。「学習者用端末を活用する授業が楽しい」と回答する児童が100%となる
3	自然を感じ、自己表現力の育成と語彙力の向上を図るために俳句・読書の学習を計画通り実施し、年5回の学校俳句コンクールを開く。	「読書がすき」「俳句の学習が楽しい」と回答する児童が100%となる。
4	専科授業、都講師、SD講師の活用や交換授業等を通して、教科担任制を推進する。	「教科担任制(高学年)・交換授業の授業が楽しい」と回答する児童が100%となる。

重点領域2		体力の向上（からだづくり）（こころづくり）＜やってみる＞
中期経営目標	健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを目指し、運動に親しみ、すすんで健康の保持増進及び体力の向上に努める態度を育成する。	
短期経営目標	体育の授業改善により体力の向上を図る。 体育的行事を計画的に実施し、体力向上を図る。 食育、健康教育、オリパラ教育を計画的に実施することで体力向上を図る。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	体育の授業では、コーディネーショントレーニングを取り入れた「わくわくタイム」を毎時間行い、校内研究を通して体育授業の改善を図る。	「体育の授業が楽しい」と回答する児童が100%となる
2	体育的行事やオリパラ教育を計画通り実施する。	「からだづくりの取組に自分から『やってみる』を意識した」「友達と『やってみる』を意識した」と回答する児童が100%となる。
3	食に関する指導の全体計画、保健指導の年間計画等に基づき、食育、保健指導を計画的に実施する。	「給食や保健の学習を通して自分の体や健康についてよく考えた」と回答する児童が100%となる。

重点領域3		豊かな心の育成（こころづくり）（なかまつくり）＜大切に作る＞
中期経営目標	豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実を目指し、自他を大切にし、互いを認め合い、児童一人一人がよさを発揮できるよう育成する。	
短期経営目標	いつでも、どこでも、だれにでも「元気なあいさつ」ができることを柱として、いじめは絶対にゆるさない、人との関わり合いを大切に作る豊かな心を育成する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	自他を大切にできるように、教員自ら手本を示すなど具体的な取組を行う。	『自分を大切に』『みんなも大切に』を意識した」と回答する児童が100%となる。
2	二亀小のきまり、月目標、学び方スタンダード定着のために、定期的な振り返りなどの取組を計画的に実施する。	「学び方スタンダードをはじめとする二亀小のきまりを守ることができた」と回答する児童が100%となる。
3	ともだちアンケートを年3回に実施し、いじめの早期発見に努める。「いじめは絶対に許さない」取組を特別の教科道徳を中心に全学級年間3回以上行う。	「いじめは絶対にしてはいけない」と回答する児童が100%となる。

重点領域4		なかま・地域とともに歩む学校（なかまつくり）＜大切に作る＞
中期経営目標	保護者、地域の教育力の活用 異学年交流、併設幼稚園等の異校種交流等の推進	
短期経営目標	保護者ボランティア、ゲストティーチャーなど学校活動への参画機会を増やし、保護者や地域の力を学校の教育に生かし、連携を図る。 児童会活動や縦割り班活動等を通して、仲間を思いやる態度、リーダーシップ、フォロワーシップを育成する。	
項目	努力指標（教師側）	成果指標（こども側）
1	学習や学校生活の情報を積極的に発信し、個人面談・保護者会等で意見を交流し、保護者や地域からの理解と信頼を深める。情報発信ではペーパーレス化を推進する。	保護者アンケートで「学校は積極的に情報発信をしている」と回答する保護者が100%となる。
2	にこにこタイム（異学年交流）や、併設幼稚園等を活用した異校種交流、グループ活動、ペア活動などを意図的・計画的に実施する。 教員も併設幼稚園参観を年1回以上行う。	「にこにこタイム（異学年交流）や異校種交流、グループ活動が楽しい」と回答する児童が100%となる。
3	コミュニティスクールとして、地域学校協働本部等、地域施設や人材を有効に活用するなど、学習、行事、いじめ対応など各種学校運営を、保護者、地域、外部機関等と協働してすすめる。	保護者アンケートで「学校は保護者や地域等と協働して学校運営を行っている」「こども教育目標を家庭でも取り組んでいる」と回答する保護者が100%となる。